

／ プロジェクト応援寄附のご案内 ／

Go For

It!

SAGA





Go For It! SAGA

“Go for”には **～を目指す** **～に向かう** という意味があり、
“it”をつけると、目標へ向かう人への応援の言葉である、
“Go for it” **頑張れ!** という意味になります。

佐賀県では、**人を大切に、世界へ誇れる佐賀づくり** のため
推進している様々なプロジェクトの中から、
寄附金（ふるさと納税・企業版ふるさと納税等）の使い道をお選びいただける
『プロジェクト応援寄附』を設けています。

各プロジェクトが目指す「佐賀県」の姿に向かって、
さらに力強く取り組み、実現できるよう
寄附を通して応援いただくとともに、
共に歩むパートナーとしてご支援賜りますようお願い申し上げます。



法人・団体からの寄附 (企業版ふるさと納税等)

法人・団体が佐賀県へ寄附を行った場合、寄附額の全額が損金として扱われるため、寄附額の約3割は税負担が生じません。また、本所が佐賀県外の法人・団体の場合は、企業版ふるさと納税制度の活用により、寄附額の最大約6割が、法人関係税から税額控除され、実質的な負担が約1割まで圧縮されます。



企業版ふるさと納税制度のポイント

- ・本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外
- ・課税所得がない法人・団体は対象外
- ・1回当たり10万円以上の寄附が対象
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止



個人からの寄附 (ふるさと納税)

個人が佐賀県に寄附(ふるさと納税)を行った場合、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除されます。※一定の上限があります

年収700万円の給与所得者の方で扶養家族が配偶者のみの場合、30,000円のふるさと納税を行うと、2,000円を超える部分である28,000円(30,000円-2,000円)が所得税と住民税から控除されます。

例





子どもたちに ものづくりの 魅力を伝えよう!プロジェクト

ものづくりの未来を担う子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えるイベントを開催します

Go For

ものづくりの ワクワク感

目指す姿



佐賀県では、県内のものづくり産業（製造業）が持続的に成長し、その技術・伝統を将来に亘って発展・継承することにより、県民が経済的・精神的にもものづくりに誇りを持つことのできる社会の実現を図っています。佐賀の子どもたちにもものづくりの技術・伝統の魅力を伝え、興味・関心を持ってもらうことで、ものづくり産業に関わる将来の人材を確保するとともに、ものづくりを通して佐賀の誇りを伝えるよう取り組んでいます。

子どもたちにもものづくりの魅力を伝えよう!

プロジェクト

Go For

ものづくりのワクワク感

課題・問題

毎年8月に県内のものづくり業界をあげたイベント「SAGAものスゴフェスタ」を開催し、ものづくりの魅力を発信しています。他にも、県内のものづくり企業を子どもたちが訪問し、製造現場の見学や現場ならではのものづくり体験を行う「ものスゴTOUR」も年に複数回行っています。未来を担う子どもたちが、ものづくり産業を自分の将来の選択肢の一つとして考えることができるよう、今後もものづくりの魅力を知り、体感できる機会を創出する必要があります。



これまでの実績・結果



ものスゴフェスタは平成27年から毎年開催しており、最も多い回では2万人を超える来場者を集め、多くの子どもたちが楽しみにしている大型イベントとして県民に定着しています。出展する企業の方々からも、子どもたちの喜ぶ顔が見られて嬉しい、自社への愛着を改めて感じたなど、満足度の高いイベントに成長しています。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、子どもたちをワクワクさせ、ものづくりへの関心を高めるイベントの企画・運営に活用します。

寄附をされた方へ

ご寄附いただいた個人・法人の皆様のお名前をイベント会場で紹介します。

県外の個人の方には、寄附額に応じてイベントグッズやものづくり体験キットをプレゼントします。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



ものづくりにときめく瞬間を、未来を創る子どもたちへ。
応援よろしくお願いします!



担当課
ものづくり産業課

TEL 0952-25-7421

MAIL monodukurisangyou@pref.saga.lg.jp

私立学校応援プロジェクト

佐賀県は、私立学校で学ぶ生徒のための、教育環境の充実を支援します!

Go For

特色ある教育、
魅力ある学校



目指す姿

公教育の一翼を担っている私立学校が、自らの創意工夫により特色ある学校づくりを進め、今まで以上に子どもたちが行きたくするような「魅力ある学校」になるよう取り組んでいます。

Go For

特色ある教育、魅力ある学校

課題・問題

佐賀県内の私立学校では、私学の柔軟性や独自性を生かして、各校が工夫を凝らして私学の魅力を打ち出してきました。しかし、少子化に伴う県全体の生徒数が減少する中、進学に伴う県外流出も続いており、今後、学校の規模が縮小し、学校の活力や教育の効果などの面で問題が生じるおそれがあります。



これまでの実績・結果



令和3年度から始まったプロジェクトで、これまで個人の方や地域企業の方から温かいご支援をいただきました。ご寄附はこれから各学校へ交付し、魅力ある学校となるよう活用させていただきます。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、佐賀県内の私立学校において、施設・設備や教育条件の向上、文化・スポーツ活動などの学校の魅力づくりの取り組みを支援するために活用します。



寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



魅力あふれる私立学校を ぜひ応援してください！



担当課
法務私学課
私立中高・専修学校支援室

TEL 0952-25-7464

MAIL houmu-shigaku@pref.saga.lg.jp



こどもたちの 家庭的な環境づくりプロジェクト

こどもたちの「こぼれるような笑顔」が溢れる佐賀県を目指して!

Go For

こどもたちが
安んずける環境



目指す姿

里親制度の正しい理解を広く活発に促すことで、途中養育に理解のある里親の登録を増やし、少しでも多くのこどもに家庭的な環境を提供でき、こどもたちが「普通のこと」を体験できる機会を増やし健全な養育環境を充実させるよう取り組んでいます。

GoFor

こどもたちが安んずる環境

課題・問題

日本では、里親による代替養育が定着しておらず、里親と間くと「養子」をイメージするため、里親に対する正しい理解が不足しています。そのため、実親側からは里親養育への理解が得られにくく家庭的な環境での育ちをこどもたちに提供できないこと、また里親側からは地域の理解が得られにくく孤立した養育になりやすい状況にあります。さらに、成長途中のこどもを途中から養育する難しい里親養育を安定して継続するために、里親をしっかりと支える仕組みが必要です。



これまでの実績・結果



こどもたちを助けたい・受け入れたいと思っていただける里親さんを増やすため、地域みなさんに里親養育を理解していただくためにリレーパネル展やさとカフェなどの啓発活動をしてきました。今では直近5年間で約2倍の181世帯の里親さんが登録されています。また、令和3年度末には78名(38.2%)のこどもが家庭的な環境で生活することができています。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、こどもたちが里親と一緒に安心して生活できるよう里親推進・里親支援に必要な活動に使わせていただきます。これによって、こどもたちが愛着基盤を形成し、安心して人を信用できるこどもの成長が期待できるとともに、こどもが自立した後も里親に助けを求めたり帰る場所になるなど、こどもの自立の促進にもつながります。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら法人・団体の
寄附はこちら

こどもの笑顔は みんなの宝、元気の源！
(地域)社会みんなで こどもの笑顔を増やしましょう！！
応援よろしくお願いします。



県立学校応援プロジェクト

佐賀の将来を担う子どもたちのため、県立学校における教育環境を充実させます!

Go For

子どもたちの
学びの充実



目指す姿

子どもたちに「佐賀県立学校で学べて良かった。将来、自分の子どもにも佐賀県立学校で教育を受けさせたい」と思ってもらえるよう、学校の特色づくりや学校機能向上などに取り組んでいます。

Go For

子どもたちの学びの充実

課題・問題

佐賀県では、44校の県立学校（高校32校、特別支援学校8校、中学校4校）で、子どもたちが勉学や部活動に励んでいます。しかし、昨今のエネルギー価格や物価の高騰が、子どもたちの教育環境の充実に必要な設備や備品を備え保持していく活動にも影響を及ぼしており、学びの質を低下させないよう学校現場でも苦慮しながら対応している状況です。



これまでの実績・結果



【佐賀東高校からの声】

ソフトボール部においてピッチングマシンを、グラフィックアート部において撮影用機材を、ふるさと納税寄附金で購入させていただきました。いずれも高価なもので、学校予算での購入が難しかったため、非常に助かっています。部活動での活気向上や、生徒が生き生きと活動している様子を、より対外的に表現できることに繋がっています。

【唐津東高校・中学校からの声】

野球部においてバッティングゲージと防球フェンスをふるさと納税寄附金で購入させていただきました。従来使っていたものは重量があり危険性もあったため、安全かつ効率的に活動ができるようになりました。

寄附の活用内容

ご寄附は、教材（実験機器、体育用品、特別支援学校における自立活動教材等）や部活動用品（楽器、ピッチングマシン、カメラ機材等）、学校備品（書籍、製氷機、電波時計等）の整備等、教育環境の充実に活用させていただきます。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



佐賀の将来を担う子どもたちの教育環境充実に
尽力します！応援よろしくお願いします！



担当課
教育総務課

TEL 0952-25-7223

MAIL kyouiku-soumu@pref.saga.lg.jp



首都圏で学び将来佐賀に貢献したい 若者支援プロジェクト

佐賀県は、首都圏で学び将来佐賀に貢献したい若者たちを支援します！
— 次世代を担う若者の支援のための寄附金募集 —

Go For

佐賀の若者たちが
活躍する未来



目指す姿

佐賀県では、佐賀を離れ、首都圏で学ぶ若者たちを支援することで、将来佐賀に貢献する人材や佐賀の未来を支える人材を育成するとともに、佐賀出身の若者たちが国内外において活躍する“未来を見据えた人材育成”に取り組んでいます。

Go For

佐賀の若者たちが活躍する未来

課題・問題

佐賀県では、首都圏で学び将来佐賀に貢献したい若者たちを支援するため、公益財団法人佐賀育英会が運営する「松濤学舎^{しょうとうがく}」を支援しています。松濤学舎は、首都圏に進学する佐賀出身者のための学生寮で、大隈重信らによって大正13年に開設されました。これまで、1,200名余の学生が松濤学舎を巣立ち、佐賀県はもちろん、国内外において活躍しています。佐賀県にゆかりのある学生たちが、将来、佐賀県や世界で活躍できるよう、松濤学舎の施設充実や事業支援を通じて、学生たちの学びを支援する必要があります。



これまでの実績・結果



ご寄附を活用し、松濤学舎の女子学生受入れのための改修や、学生の学び・夢を応援する様々な事業を行っています。たくさんの温かいご支援により、松濤学舎で学んだ多くの若者たちが、佐賀県内外で活躍しています。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、公益財団法人佐賀育英会を通じて松濤学舎の運営や次世代を担う人材育成事業に活用させていただきます。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



次世代を担う佐賀県出身の学生たちを ぜひ応援してください！



担当課
法務私学課
私立中高・専修学校支援室

TEL 0952-25-7464

MAIL houmu-shigaku@pref.saga.lg.jp

パラスポーツ応援プロジェクト

パラスポーツの活動拠点を整備し、パラアスリートがもっと輝けるSAGAに！

Go For

SAGAを
パラスポーツの聖地に

目指す姿



2024年、佐賀県で全国障害者スポーツ大会（SAGA2024全障スポ）が開催されます。全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手が競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加を推進することを目的とした大会です。佐賀県では、これを機に、障がいのある人がスポーツに親しむ機会を創出するとともに、パラスポーツの選手の発掘・育成、普及啓発事業を加速し、SAGAが“パラスポーツの聖地”となるよう取り組んでいます。

Go For SAGAをパラスポーツの聖地に

課題・問題

パラスポーツの活動拠点であるSAGAパラスポーツセンターは、「SAGA2024全障スポ」に向けて、パラスポーツに取り組む人たちの練習会場や、パラスポーツの普及教室などに活用されています。しかし、昭和58年に設置されてから約40年が経過しており、老朽化が進んでいるため、改修が必要な箇所が多くあります。



これまでの実績・結果



令和3年度に当該施設のトイレと更衣室等の改修工事を実施し、その後のアンケートで、「清潔感があり利用しやすくなった」、「(上肢障がいでは使えなかったが)石鹸が自動で出て使いやすい」などの声をいただきました。今後も、より多くのひとが快適に利用できる施設として整備します。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は施設整備(ドアの改修等)に活用し、安全で安心に活動できる施設にします。また、パラスポーツ特有の競技用具を購入・整備(競技用の車いすやサウンドテーブルテニス専用室等)し、誰もが気軽にパラスポーツにチャレンジできる機会を創ります。

寄附をされた方へ

個人 SAGAパラスポーツセンターを中心に活動し、今後の活躍が期待される県内のパラアスリートからお礼のお手紙を差し上げます。また、佐賀県外からの寄附者には、SAGAパラスポーツセンターの利用者が各自作業所等で制作された作品も返礼品として同封いたします。

法人・団体 佐賀県のパラスポーツ専用サイトにてご紹介いたします。この御縁を機に、佐賀のパラアスリートの活躍に注目し応援していただけると幸いです。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



「まずは挑戦! スポーツで可能性の道をひらく」
障がいのある方が安心してスポーツに
取り組めるよう、応援よろしくお願いします!



担当課
スポーツ課

TEL 0952-25-7334
MAIL sports@pref.saga.lg.jp

吉野ヶ里遺跡出土品 情報発信充実プロジェクト

吉野ヶ里遺跡で発掘された出土品を、よりわかりやすくご覧いただくために

Go For

本物が持つ力を
吉野ヶ里遺跡から



目指す姿

子どもたちや今まで歴史に興味がなかった方々が、吉野ヶ里遺跡をとおり、弥生時代の人々の生活や佐賀の地の当時の技術力にふれ、日本の歴史を学ぶ楽しさを知るとともに、吉野ヶ里遺跡の魅力を伝えるために取り組んでいます。

Go For

本物が持つ力を吉野ヶ里遺跡から

課題・問題

1991年に国の特別史跡に指定され、日本の古代の歴史を解き明かす上で重要な遺跡である吉野ヶ里遺跡では、発掘調査により、全国で3例しか出土していない巴形銅器の鋳型をはじめ、貴重な遺物が数多く出土しています。しかし、発掘調査の復元品やレプリカが不足しており、調査結果の発信が十分にできていないのが現状です。また、保存処理が済んでいない遺物も残されています。



これまでの実績・結果



わかりやすい説明で、遺跡を身近に感じ、親しんでもらう展示を心がけています。例年10万人を超える方々にご来館いただき、展示品をご覧いただいています。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、吉野ヶ里遺跡出土品の復元品・レプリカの作成、出土品の保存処理などに使わせていただきます。これによって、出土品をよりわかりやすく理解することができ、吉野ヶ里遺跡の情報発信がより充実したものになります。

寄附をされた方へ

いただいたご寄附により作成した展示品を公開する際に、ご希望いただいた方に限り、寄附者及び寄附法人・団体を紹介させていただきます。

また、個人で1万円以上ご寄附いただきました方につきましては、吉野ヶ里遺跡の特別解説にご招待します。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



わかりやすく、魅力的な展示品の充実に
回ります。応援よろしくお願いします。





わんにゃんサポートプロジェクト

保護されたワンちゃん・ネコちゃんを、新たな飼い主さんとの出会いへつなげます。

Go For

保護された犬猫に
出会いを



目指す姿

佐賀県が保護・収容し、元の飼い主が見つからない犬や猫に、新たな飼い主との出会いをつなげるとともに、犬・猫の保護・収容を減らすことで、殺処分される頭数を減らす取り組みを行っています。

Go For

保護された犬猫に出会いを

課題・問題

飼い主がいない猫への無責任な餌やりなどにより無秩序な繁殖が発生すると、管理しきれなくなった犬・猫が県へと収容されてしまう恐れがあるため、このような無秩序な繁殖を防ぐ必要があります。
また、収容された犬猫のうち、特に離乳前の子猫の生存率が著しく低いため、離乳するまで育て上げ、譲渡していく必要があります。



これまでの実績・結果



本プロジェクトは平成28年度から開始し、皆様のご支援のおかげで開始前の平成27年度と比較して殺処分数を92.4%減少させることができました。佐賀県では今後も、動物を命あるものとして県民一人ひとりの動物愛護意識の高揚を図り、「人と動物が共生できる社会」の実現に向けて動物愛護施策を推進していきます。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、譲渡犬猫へのマイクロチップ装着や不妊・去勢手術費用助成の他、離乳前の子猫・子犬をボランティアさんに預け育ててもらうミルクボランティア制度などに使用させていただきます。

寄附をされた方へ

ご寄附いただいた法人・団体は、動物愛護イベントの開催チラシなどでご紹介させていただきます。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



保護 わんにゃんのため頑張っていきますので
皆様のお力添えをどうぞお願いします！



担当課
生活衛生課

TEL 0952-25-7077

MAIL seikatsueisei@pref.saga.lg.jp

JAXAGAキューブサットに乗せた 高校生の宇宙への“夢”挑戦プロジェクト

宇宙教育を通じて子どもたちに夢や志を育みます!

Go For

佐賀から宇宙を、
宇宙から佐賀を



目指す姿

佐賀県とJAXA(宇宙航空研究開発機構)が連携し、宇宙を切り口とした教育プログラムを通じて、次の時代を担う子どもたちに「佐賀から宇宙を、宇宙から佐賀を考える」機会を創出することで、未知へチャレンジする心や科学への興味、佐賀への誇りと愛着の醸成を図ります。

Go For

佐賀から宇宙を、宇宙から佐賀を

課題・問題

佐賀県は2021年にJAXAと「宇宙×地方創生」で協定を締結し、その一環で小学生から高校生を対象に、「JAXAGA SCHOOL (ジャクサガスクール)」を立ち上げ、宇宙や佐賀について学ぶ活動に力を入れています。その高校生の部では、県内の高校が協力しながら超小型人工衛星「キューブサット」を3年間の開発と準備を経て宇宙に打ち上げてデータ分析などを行うことで、佐賀県のために役立てようと努力しています。キューブサットの製作を行うためには専門的な知識や経験に基づく蓄積されたノウハウが必要で、現在は他県の機関に頼りながら製作しており、研究や実験、試験を行うための経費や交通費が発生します。また、継続した活動を行うためには、設備投資や必要なパーツの購入など多額の費用が発生します。



©九州工業大学

これまでの実績・結果



これまでに、キューブサットの試作機であるEM(エンジニアリングモデル)を製作し、宇宙空間に近い環境での動作確認などの実験を行ってきました。また、実際に打上げに使用するFM(フライトモデル)の設計書を作成し、初の打上げに向けても取り組んでいます。

寄附の活用内容

いただいたご寄附は、高校生が開発したキューブサットの打上げ申請とそれに伴うキューブサットの改善改修などの作業に関わる活動を行う費用、専門施設やJAXAへの旅費などに充当されます。これらによって、近い将来、佐賀県独自のキューブサットの開発を行うことができ、他県をリードした高い水準の宇宙教育を子どもたちに行うことができます。

寄附をされた方へ

個人 「JAXAGA」オリジナルステッカーをプレゼントするとともに、ご希望の方はJAXAGA-SCHOOLのHPにお名前を掲載させていただきます。

法人・団体 宇宙科学館に設置している「キューブサットラボ」にて寄附法人・団体として紹介させていただきます。

寄附のお申し込み

Q 佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が
知りたい方や
個人の寄附はこちら



法人・団体の
寄附はこちら



佐賀の高校生の宇宙へのチャレンジを
あとおししていきます!!
応援よろしくお願いします!



担当課
文化課

TEL 0952-25-7236
MAIL culture_art@pref.saga.lg.jp



佐賀県 税政課

T E L : 0952-25-7028

F A X : 0952-25-7294

E-mail : zeisei@pref.saga.lg.jp



 佐賀県